

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	面会のできない期間が長期に渡っている。多くの家族が面会を望んでおり、電話やビデオ通話を試してみたが混乱や不穏に繋がることから見合わせた。また、ビデオ通話となると個人の物や、介護記録用のタブレットは使用できない為、法人購入を検討しなければならない。現在のところ法人(本社)からはその予定はないとのこと。	感染予防対策を講じた上で、短時間でも面会を行える環境を提供する、又は面会に代替となるような家族との関りを支援することができる。	10分程度で屋外での面会を行えるようにする。夏や冬の間は気温による体調不良に繋がるので、屋内玄関先で十分な間隔をとって面会を行えるようにする。コロナ感染拡大が懸念される時期であれば、入居者、職員の安全面を考慮して一時的に自粛を行うこととする。その際は事前に家族には報告する。	6ヶ月
2	49	外出、買い物や地域行事の参加がコロナ禍によりできない状況である。屋内での合同レクリエーションは定期的に行っているものの、外気にふれる、屋外の景色を楽しむ、買い物を楽しむ、地域交流といった代替になるとは言い難い。	外気にふれ、外や地域の景色にふれることで季節や時間を感じてもらい、挨拶や笑顔を交わすことで地域住民との関りを楽しんでもらうことができる。	コロナ禍によりスーパーや大型店、飲食店は難しいがコンビニでの買い物や公園、近隣の散歩等を感染予防対策を講じた上で行えるよう支援する。また、玄関先にベンチを置いて日光浴や季節の風を楽しんで頂ける環境、機会を作る。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。